

科目名	文学国語 (R4 課程)			単位数	4 単位
教材	教科書：文学国語 (東京書籍)			添削指導 (レポート)	全 12 回
	副教材：文学国語学習課題ノート (東京書籍)			面接指導 (スクーリング)	4 時間
学習評価 (観点別評価)		添削指導	面接指導	定期試験	放送 ※希望者のみ (東京書籍インターネット講座)
	知識・技能	60%		40%	
	思考・判断・表現	60%		40%	定期試験
	主体的態度	80%	20%	0%	
単位の認定	①レポート：規定回数のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング：規定回数の全ての回に出席すること。 ③定期試験：前期試験、後期試験を受けること。 ④評定は、観点別評価をふまえて総合的に判断する。達成状況と評定の関係は次の通りとする。 〔～2割：1、2割～4割：2、4割～7割：3、7割～9割：4、9割～：5〕				

指導計画			
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単元・学習内容	スクーリング回	レポート回	放送 (東京書籍インターネット講座)
随筆 雨月物語 自分の立ち位置は自らの歴史の結果であり、他者理解に繋がることを考える。	1	1	①教科書の内容に対応する動画をすべて視聴すること。 ②単元テストの問題にすべて取り組むこと。 ①②を完了した場合、面接指導 (スクーリング) の出席回数を最大で 2 時間減免できる。
小説 1 山月記 自意識の痛みに苦しむ主人公を通して自己や他者への理解を深める。		2	
小説 2 山椒魚 自己理解に向かう主人公の心理を読み取りながら人生テーマを考える。		3	
詩歌 永訣の朝/硝子の駒 独特の語法を通して作者の思いや人生観に触れる。短歌という伝統的表現から情景を読み取る力を養う。		4	
小説 3 ころも 主人公や登場人物の気持ちに寄り添い他者の思いを理解する力を養う。		5	
小説 4 鞆 抽象的な言葉に込められた作者の考えを連想し様々な表現を解釈する力を養う。	2	6	

<p>随筆1 国語から旅立って これまでの経験が通用しない場での困難さや不安を通してアイデンティティの確立や他者理解へのヒントをつかむ。</p>		7	
<p>小説1 コンビニの母 コミュニケーションや価値観は様々であることを理解し他者の言動を尊重する態度を養う。</p>	3	8	
<p>随筆2 空っぽの瓶 筆者の体験を通して他者の価値観を理解したり比喩を読み取る力を養う。</p>		9	
<p>小説2 舞姫 語り手や登場人物の心情を類推したり読み取る読解力を身につける。</p>		10	
<p>評論 演技する「私」 筆者の主張を押さえると同時に言葉には想像力と共に心を豊かにする働きがあることを理解する。</p>	4	11	
<p>小説3 葉桜と魔笛 登場人物の繊細な心の動きや各描写を通して想像力を養い自らの心情に気づく力を養う。</p>		12	